Baytown News

ジィジとあそぼう

ベイタウンの3つの小学校では地域の住民が参加する授業が盛んです。打瀬小学校では創立以来「地域交流ふれあいクラブ」(創立時は「地域交流特別クラブ」)が年間3回行われ、ベイタウンニュースでもその様子を何度か伝えてきました。海浜打瀬小、美浜打瀬小では同じように地域の住民が参加する授業として、1年生を対象にした「昔遊び」の授業が行われています。今回は昨年12月に行われた美浜打瀬小の授業と、今年1月に行われた海浜打瀬小の授業の様子をお伝えします。

【松林】

「きょうはむかしのあそびをおしえてください。よろしくおねがいします」かわいい声に会議室で待っていたシニア 31 人は思わず目を細めました。1月31日朝、海浜打瀬小学校で行われた1年生対象の授業「昔遊び」の始まりです。

この授業は地域のシニア世代と1年生児童のふれあいを目的として2003年に始まりました。その後同小学校恒例の授業になり、今年で6回目になります。授業の世話役は同校評議員でもある鎌田さん(4番街在住)。主に地域のシニアのみなさんに声をかけ、今回の授業に協力してくださる方を集めました。



(写真左上)「おりづる」、(写真左下)「けんだま」、(写真中上)「いろはがるた」、(写真中下)「竹とんぼ」(海浜打瀬小)。

(写真右上)「おはじき」、(写真右中)「指相撲、押し相撲」、(写真右下)「ゴムとび」(美浜打瀬小)

新聞紙で作った「カブト」をつけて微笑む砂原さんと子どもたち(美浜打瀬小)

今回の授業で行われたのは「木のこま」「けんだま」「竹とんぼ」「おてだま」「おはじき」など、参加したシニアの皆さんが子どもの頃、路地で遊んだようななつかしい遊び 10 種目。アリーナや校庭、教室に種目ごとに分かれて子ども達に「昔取った杵柄」を伝授しました。とはいえ元気盛りの子ども達の体力にはシニアの方々もタジタジ。昔慣らした妙技が披露できず、悪戦苦闘するシニアも・・・。それでも孫のような子ども達に優しく接するみなさんに、子ども達もすっかり安心して楽しい時間を過ごしていました。

一方、美浜打瀬小学校では昨年12月3日、「昔あそび」の授業を行いました。こちらの授業のお手伝いをしたのも同じく地域のシニア世代を中心に21人。こちらでも「けんだま」「こままわし」「追羽根」「まりつき」など14種目。中には「チャンバラ」や「めんこ」といっ







た今では見られなくなった遊びもあり、子ども達は初めての遊びに目を輝かせていたそうです。

両小学校の授業に参加したシニアのみなさんは、街でも子ども達に出会って声をかけてもらうことを楽しみにしています。







移管問題を考える会便り

前回、シンポジウムの様子を速報しましたが、今回は、シンポジウムで開示された情報(街の維持管理に関するデータ)をもう少しご紹介します。 【板東】

1. 公園・緑地

	千葉県企業庁	千葉市
清掃	芝:1回/月 草地:6回/年	4回/月
草刈	3回/年	3回/年
除草	3回/年	3回/年
芝刈	4回/年	6回/年
剪定	1回/年	高木:必要に応じ
		中木:必要に応じ
		低木:1回/年
消毒	2回/年	不定期

2. 道路

1. 道路補修

	千葉県企業庁	千葉市
維持補修工事	随時補修	随時補修

みどりの教室 報告

12 月号ベイタウンニュースでご紹介の海浜幕張公園は、ベイタウンに繋がる自然環境としているいるな利用方法が考えられますが、緩衝緑地帯は景観のみならず住宅地区の防風林としても価値のあるものです。そこで、この現状について、第2回の「みどりの教室(11月23日開催。講師:専門員小山真澄先生)」で行った調査の結果に基づいてご報告します。【寄稿:シティーズフォート廣木真理】

緩衝緑地帯の手入れをどのように行っていくか?その計画を立てるのにまず重要になるのは、『今』の緩衝緑地帯がどういう状態にあるか、ということです。これを調べるために、私たちは緩衝緑地帯の林中に 10m × 10m の調査地を設置し、その中で樹林の現況調査を行いました。その結果、現在の緩衝緑地帯は木の密度が非常に多く、暗くて植物が育ちにくく、防風林としての機能も著しく低下しているということが明らかになりました。

1. 緩衝緑地帯の今 - 調査の結果と考察 -

樹木本数の調査では、100 ㎡に119 本の木が観察されました。調査地周辺の樹木の密度については、平成19年3月に出された樹林管理計画では30本/100㎡を管理目標として掲げており、実際はこの約4倍の密度になっていることが分かります。そのため、調査地内の上層は生い茂った樹木の枝葉で覆われ、昼もほとんど太陽の光が当たらない暗い林になっています。しかも樹種はすべて常緑樹でした。常緑樹とは1年中葉をつけている木のことで、このため調査地は1年を通して暗い林となっていることが分かります。植物の成長に光は不可欠なものですので、今の状況では光が当たらない林の下層の植物が元気に育つことは難しいと考えられます。

調査地の下層植生 (120cm 未満の植物) を調べた結果、被覆率 (地面を覆う率) は 15% と低く、ほとんど地表が露出しており、種数も 9 種類と少ないことが分かりました。地表から土壌を 80cm 掘って土層を調べた結果、林内の土壌は落ち葉などの有機物が分解されてできる腐棄土層がとても薄く、栄養の少ない状態でした。土を触ってみると、水分が少なくパサパサしていました。このことから、土壌の水分不足が落ち葉など有機物の分解を阻害し、分解されず堆積した落葉落枝が雨の日などは林外へ流亡し、土壌の貧栄養をさらに加速させている可能性が考えられました。

緩衝緑地帯に望まれる役割のひとつに、防風効果が挙げられます。 海と街の間に立つことで、海から来る強い風から私たちの街を守る 大切な役割です。調査地は樹木の密度が高いため、防風効果も高い のでは?と考えてしまいますが、実はそうではありません。胸高断 面積を合計した値は 100 ㎡のわずか 0.6% と非常に低く、一本一 本の木が非常に細くひょろひょろしていることが分かりました。こ

2. 街路灯

	千葉県企業庁	千葉市
点検	1回/月	2回/年
維持補修工事	随時補修	随時補修
	(とりまとめの上)	

3. 道路植栽

	千葉県企業庁	千葉市
剪定	1回/年	常緑:1回/2、3年
		落葉:1回/年
		(ただしプラタナスは年2回)
除草	3回/年	3回/年
消毒	2回/年	※ 1

※1 千葉市では、植栽管理方針として、予防的な消毒は実施していません。害虫の付いている部分の切除、もしくは、害虫の捕殺ができない場合のみ、害虫の発生状況を見て消毒を実施します。

れは木の密度が高いために、かえって木の生育が悪くなってしまっていることを示しています。実際、調査地の中には、根が腐っていて片手で少しゆすっただけで倒れてしまう木もありました。

では、どのような木に防風効果があると言えるのでしょうか。それを示す値として『形状比』が挙げられます。形状比とは樹木の高さを幹の胸高直径で割った値で、一般にこの値が80を超えると風の被害を受けやすくなると言われています。調査地の樹木の形状比を樹種ごとに平均すると80以下になる種は1種しかなく、他の10種はすべて80以上で、その中でも7種については100を超えており、ほとんどの木が風の影響を受けやすくなっていることが明らかになりました。

2. 緩衝緑地帯のこれから - 実際の手入れ -

①樹木が過密状態になっており、個々の木が健全に生育できない環境にある。②樹種が常緑種であること、木が過密に生育していることなどから、林内が暗くなり、下層植生の生育を阻害している可能性がある。③土壌の乾燥化が有機物の分解を阻害している可能性がある。

この調査結果を受けて、緩衝緑地帯の樹林の改善策を検討し、問題①②に対しては間伐を行うこと、問題③に関しては間伐材で作った木材チップを地面に敷設し、地表からの水分の蒸発を防ぐことなどの意見が出されました。そして、12月15日の第3回の教室では、この意見をもとに実際に林内に入って手入れ作業を行いました。

防風機能を備えた樹林の樹木を間伐することは、防風効果の低下を引き起こすのではないかと思いますが、実際は本数を減らした方が一本一本への養分供給を向上させたり、生育面積を広げたりすることができるので、風にも負けない強い木を育てることができます。また、本数が減ることで上層を被う枝葉が減り、林内へ差し込む光も多くなります。さらに、間伐した木を用いてチップを作れば、廃材も有効活用することが可能です。

第3回の教室の手入れ作業では受講生全員で間伐する樹木を選定し、伐採を行いました。この際、なぜその木を選んだかという理由を発表し、全員が納得した木だけを伐採する方法をとりました。そうすることによってむやみな伐採を防ぎ、全員が目標とする林の姿へと近付けることができます。このような作業を約2時間行い、その結果第2回の教室の現況調査では日向の0.8%程度の明るさしかなかった樹林内が、第3回の終了時には1.4%と2倍近い明るさとなりました。チップに関しては、時間の都合上第3回の教室中にはできませんでしたが、今後林内に遊歩道を作り、そこに敷設していく予定です。皆さんも、この緩衝緑地帯の現場を見にいらっしゃいませんか?

活動・調査の詳細については、シティーズフォート廣木真理もしくは8番街辻和夫(TEL:090-5440-8729)までお問い合わせ下さい。

シリーズ 打瀬中アラカルト 部活動編 【教頭 青木 一】

皆さんは、中学校時代を振り返ると、何が 最も印象的ですか。「部活動」と答える人が 多くいるのではないでしょうか。部活動は正 式な教育課程内の活動ではありませんが、青 春のスタート時、心も身体も不安定な中学生 にとって、部活動の持つ意味は非常に深く、 中学校生活に大きな影響を与えるものです。

スポーツ系の部活動では、健全な精神と健 康な身体の育成を大きな目標とし、「生涯を 通してスポーツが好き」な生徒を育てたいと 考えています。しかし、ゲームというのは"勝 つ"と楽しいものです。誰も負けるために練 習をしているのではありません。そこで1つ 上の目標を掲げます。初戦敗退だったら2回 戦目標、2回戦なら3回戦目標というように。 このような具体的で身近な目標を掲げて活動 します。運営や練習方法は最大限、生徒の自 主性を重んじています。顧問の指示を待つの ではなく、自主的に積極的に部活動に取り組 むように願っています。

本校には野球、サッカー、バレーボール、 陸上、テニス、バスケット、バドミントン、 特設水泳、吹奏楽、科学、クリエイティブが あります。どれもそれぞれ、感動あり涙あり のドラマを創出しています。では、次回から そのドラマのワンシーンをご紹介しましょ う。

このシリーズでは毎号、打瀬中学校からの投 稿により中学生の活動を紹介します。



海浜打瀬の会 2 台目の車椅子を寄贈

海浜打瀬の会(海浜打瀬小学校の保護者と 教職員の会)では、平成15年から海浜打瀬 小学校の子ども達と一緒に学区のマンション の皆さんや学区外のベイタウン住民の方々に もご協力いただきアルミ製のプルタブを集め て車椅子を購入し寄付する活動を行っていま

2年前に1回目の車椅子を購入することが でき、車椅子一台を「美浜いきいきプラザ」 へ寄贈しました。車椅子の購入は今回で2台 目になります。

プルタブはダンボール箱に 20 kgずつ梱包 して山形にあるリサイクル会社へ送ります が、送る前に不要なものを取り除かないとい けません。大勢の役員のお母さんが、磁石で スチールのもの(くぎ、画びょう、など)や 不要物をとりのぞく作業を定期的に行い、車 椅子一台を購入するのに必要なプルタブ約 22.0 kg (ダンボール 11 箱分) を今年度、回 収送付することができました。

2台目の今回は、「地域に役立てたい」と いう視点から、役員のお母さん、先生方ほか いろいろな方に相談し、私達の住むベイタウ ンのスーパーマーケット・リンコスに贈り、 役立てていただく事にしました。

車椅子は 2月7日に海浜打瀬小学校アリ ーナで子ども達にお披露目し、その場でリン コスの店長、水井さんに直接子ども達から手 渡す事ができました。

この活動に協力していただいた多くの皆さ んにも、活動の成果を実感していただけると ころに寄付できた事を、心から嬉しく思いま す。今後もこの活動が沢山の人々の協力のも と、継続していく事を願っています。

【寄稿:海浜打瀬の会】



公園の について話 ペット可のマンションも増え、ベ イタウンには人だけでなくたくさん

写真はドッグランイメージ

の犬も暮らしており、朝夕にはたく さんの飼い主さんが愛犬を連れて散歩 している姿を見かけます。東京都では 整備が進んでいますが、ベイタウンに

はリードを外して犬を運動させるドッグランがありません。幕張海浜公 園内にドッグランを作りたいという住民の声を受けて、犬を飼っている 人、飼っていない人、専門家も交えて開催される勉強会です。

ベストセラー『犬の頭がグングンよくなる育て方』筆者の三浦健太氏 を迎え、「ドッグラン」を正しく理解し、それぞれの立場の人にとって どんなメリットやデメリットがあるのかを知り、質疑応答ではドッグラ ンや犬との暮らしについて、ざっくばらんに話し合います。ぜひご参加 ください。

ドッグランの開設は決まっているの?

確定ではありません。この勉強会の反響を踏まえて、設置に Α1 ついて検討していきたいと思っています。

ドッグランの必要性は?

リードをつけていない犬に嫌悪感や恐怖心を抱く一般公園利 用者と、犬を自由に遊ばせたいという飼い主、両方からのニーズが 高まっています。

犬を飼っていない人にも関係あるの? Q3

ドッグラン設置により、吠え声や臭気、遠方から犬を連れて Α3 くる人たちの違法駐車、飼い主のマナーのなども懸念されるため、 近隣の住民の理解が必要です。

Q4 こうした問題の解決策は?

公園管理事務所としては、具体的には何度か勉強会を行った り、ドッグランのボランティアを募ったうえ、試験的な設置をし て皆さんの意見を聞いていきたいと思っています。

(質問者:ベイタウンニュース:佐藤 答えてくれた人:千葉県まちづくり公 社石井さん)

3月のコア・イベント

わくわくおはなし会 3月の常設おはなし会

時間:10:30~

場所:ベイタウン・コア 講習室(途中入場もできます) 今回から、おはなし会の場所が 「講習室」 に変わりま

す。工芸室のとなりだよ。

ちょっとお部屋が広くなって、おはなし会もバージョンアップ! どの絵本にしようかな、こんなゲームもできるかな……さあさあ、何 が出てくるか、当日までのお楽しみ。

予約はいりません。 おとなもこどもも、たくさんの参加をお待ちし ています。連絡先:井上(TEL 211-0188 wak2@yahoogroups.jp)

寺子屋工作ランド

「竹笛(たけぶえ)をつくろう」

時間:9:30~

場所:ベイタウン・コア 工芸室

持ってくるもの:小刀、工作道具参加費:50円(保険料)

第60回ファツィオリの会 時間:9:30~11:30

場所:ベイタウン・コア 音楽ホール

月に一度の フルコンサートグランドピアノ「ファツィ オリ」を弾ける会です。ピアノ以外、楽器や歌などの演

奏も大歓迎です。非公開での参加も受け付けておりますのでお気 軽にお申し込み下さい。申し込み締め切り:3月16日(日)

連絡先:大垣 TEL·FAX:043-276-3878 ymogaki@k4.dion.ne.jp

マ:公園のドッグランについて話そう

平成 20 年 3 月 15 日 (土曜) 13 時 30 分

| |浦健太氏 (NPO 法人社会動物環境整備協会理事、WANWAN パー

幕張海浜公園事務所窓口または電話 043-296-0126 にて申し込み

9:00 ~ 17:00)

毎浜公園指定管理者 財団法人千葉県まちづくり公社

フェアリーズ 千葉県合唱コンクールで受賞

ベイタウンのジュニアコーラスグループ「フェアリーズ」は1月20日、佐倉市民音楽ホールで行われた「第18回 千葉県合唱アンサンブルコンテスト」(千葉県合唱連盟・朝日新聞社主催)で金賞と朝日新聞社賞を受賞した。

この合唱コンテストは千葉県内から小中学校、高校など 139 団体が参加し、小学校、中学校、高等学校、ジュニア、おかあさん、一般など6つの部門に分かれ 1/19、1/20の2日間に渡って行われた。このうちフェアリーズが出場したのは 1/20のジュニア部門。フェアリーズはこの部門で金賞を受賞した後、全部門で審査されたなかで、朝日新聞社賞に輝いた。

フェアリーズはコアで活動するベイタウンの小学生を中心とした合唱団。今回のコンテストに出場したのはそのうち、小学校4年生から6年生を中心とした20人。フェアリーズはコアの開館した2002年に発足し、今年で7年目になる。創立当時から合唱団を指導するのは、自身も声楽家の森本真由美さん(18番街在住)。合唱団としての力をみがくほか、これまで「サウンド・オブ・ミュージック」「地球のこどもたち」などベイタウンの少年少女で創作する大規模な音楽イベントも行ってきた。現在の団員数は就学前の児童から中学1年生まで59人。ほぼ2年に1回のペースで定期演奏会を行い、昨年12月にも開館したばかりの美浜文化ホールでコンサートを行った。

今回の受賞について森本さんは、「昨年あたりからいろいろなコンテストに出場するようにしていましたが、短い期間で大きな賞をいただくことになり喜んでいます。子ども達にもいい励みになったと思います」。「普段の指導では特に声の響きに注意しています。子ども達に声を響かせるように歌うことを指導するのは難しいのですが、普段コアの音楽ホールという恵まれた環境で練習しているので、子ども達の耳を育てる上ではとてもよかったと思います」。

なるほど、他の合唱団が学校の体育館や講堂など音響的に恵まれないところで練習しているのに比べ、毎回音楽ホールを使って練習できるベイタウンの音楽関係者は恵まれている。コアに音楽ホールを造ったことの成果が少しずつ出てきのだろう。





(写真上) 今回のコンクールに合わせ新しく揃えた制服を着て受賞記念撮影をしたフェアリーズ(写真左) 昨年12月に美浜文化ホールで行った定期演奏会で熱演する団員

一方子ども達は「すごくうれしいです。いつもコンサート直前になると森本先生の指導がきびしくなり、金曜日に練習があったりして大変だったけれど、賞がとれたことでやり遂げた気持ちになりました。これからも頑張ってつづけたいです」 【松村】

ジュニア・コーラス・フェアリーズでは新メンバーを募集しています。

連絡先:森本 (TEL&FAX 211-7676 9:00 ~ 14:00)

